

6/1 – Lecture 5.

「(バラの) 香りの作り方」

講師：マルタン・グラ

オランダの IFF、グラスとニューヨークのルール・ジヴォーダン、パリのドラゴコ・シムリーズで調香師として勤務した。彼は国際的な香料会社やデザイナーのために香料を創作してきた。

- ・ブルー・マリン (ピエール・カルダン)
- ・男性用 1881 (ニノ・セリュッティ)
- ・男性用ラピダス (テッド・ラピダス)
- ・ブドゥワールとリベルティヌ (ヴィヴィアン・ウエストウッド)
- ・マルーシア (ロリアル・スラヴァ・ザイトゼウ)

調香師 (私) は「天然物由来」と「合成」の約 6000 の原料を持っている。「合成」のものは「天然物由来」のものを分析し、合成して作られる。

香りの創造物は様々な方法でできあがる。

1. 模倣によって：調香師は香水をできるだけバラの香りに近づけようと努力する。
2. 変化させることによって：調香師はバラの香りの色々な側面を明らかにしたり強調したりする、例えば香辛料調、果実調、木調、芳香性調、かんきつ調、というように。
3. 想像によって：芸術作品と比べられるような。

香水製造はこうして抽象的な芸術になる。それは現在と過去の決別である。調香師は空白のページから始めて、彼の想像力を使って新しい調和を作る。そこではバラはその一部になるのかも知れない。